

## 平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年10月27日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 オールアバウト

コード番号 2454 URL <http://corp.allabout/ir/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 江幡 哲也

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部 ジェネラルマネジャー (氏名) 鈴木 誠

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

TEL 03-6362-1300

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第2四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	1,642	△5.4	89	—	92	—	85	—
22年3月期第2四半期	1,736	—	4	—	6	—	△176	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	637.30	637.17
22年3月期第2四半期	△1,318.40	—

(注)21年3月期第2四半期につきましては、連結として開示したため、22年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(注)22年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額につきましては、四半期純損失を計上しているため、記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	3,615	3,194	88.3	23,803.82
22年3月期	3,629	3,107	85.6	23,166.47

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 3,193百万円 22年3月期 3,107百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	500.00	500.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,480	△3.5	180	△15.1	180	△16.6	260	—	1,938.26

(注)当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 134,277株 22年3月期 134,273株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 135株 22年3月期 135株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 134,140株 22年3月期2Q 134,138株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 .....	1
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	1
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	1
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(第2四半期累計期間) .....	6
(第2四半期会計期間) .....	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

#### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期会計期間におけるわが国の経済は、一部経済指標では景気が持ち直しているといった発表があったものの、急激な為替相場の変動や株価の低下等により不安定な状況が続いており、失業率が高水準にある等、依然として厳しい状況が続きました。

当社の主力事業領域となる広告ビジネスにおきましては、先行きの不透明感を受け、企業からの広告出稿の手控えが続きました。このような環境下で当社は、運営するインターネット総合情報サイト「All About」の改変によるメディアの利用価値及び集客力の強化に取り組むと共に、新たな収益力強化のために中国ネットショッピング市場への進出や新規サービスの開発、及び新規事業の検討等を進めてまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は1,642百万円（対前年同期比5.4%減）となりましたが、引き続きコスト削減に努めた結果、営業利益は89百万円（前年同期は4百万円）、経常利益は92百万円（前年同期は6百万円）、四半期純利益は85百万円（前年同期は四半期純損失176百万円）となりました。

#### (広告ビジネス)

当社の主力事業であります広告ビジネスは、「インターネット広告事業」及び「金融情報誌事業」から構成されており、広告主からの広告出稿により収益を獲得しているビジネスであります。

当第2四半期累計期間における広告ビジネスは、スマートフォン対応サイトの公開やソーシャルメディアとの連携強化、広告主の業種・領域ごとの戦略的営業推進、広告代理店との営業連携強化を続けてきましたが、広告主からの広告出稿の手控えが続く厳しい状況となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における広告ビジネスの売上高は1,510百万円（対前年同期比3.4%減）となりました。

#### (専門家ビジネス)

専門家ビジネスは、オンラインショッピングサイト「All Aboutスタイルストア」の運営、及び様々な専門家と一般消費者を結びつける場を創出する専門家マッチングサービス「All Aboutプロフィール」から構成されており、当社がネットワークしている専門家を通じて収益を獲得しているビジネスであります。

当第2四半期累計期間における専門家ビジネスは、「All Aboutスタイルストア」では5月にサイトリニューアルを実施した他、8月に中国ネットショッピング市場への進出をしました。また、「All Aboutプロフィール」では5月に無形サービスECへのサービス改変を行い、ユーザビリティ改善のためのサイト改良を行ってまいりました。しかし、「All Aboutスタイルストア」が嗜好性の高い商品を取り扱っているため景況感の影響を強く受けた他、「All Aboutプロフィール」では出展者数が当初予定より伸び悩み、厳しい状況となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における専門家ビジネスの売上高は131百万円（対前年同四半期比23.7%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### (資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期会計期間末の総資産は、3,615百万円となり、前事業年度末と比較して14百万円の減少となりました。

資産の部では、流動資産は3,202百万円となり、前事業年度末と比較して、77百万円の減少となりました。これは主に売掛金が127百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は412百万円となり、前事業年度末と比較して、63百万円の増加となりました。これは主にソフトウェアが57百万円増加したこと等によるものであります。

負債の部では、流動負債は409百万円となり、前事業年度末と比較して113百万円の減少となりました。これは主に未払費用が61百万円減少したこと、未払消費税等が11百万円増加したこと等によるものであります。固定負債は11百万円となり、前事業年度末と比較して11百万円の増加となりました。これは資産除去債務の計上によるものであります。

純資産の部は、3,194百万円となり、前事業年度末と比較して、87百万円の増加となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は46百万円増加し、2,821百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、147百万円の増加となりました。これは、主に税引前四半期純利益を87百万円計上したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、100百万円の減少となりました。これは、主に無形固定資産の取得に77百万円支出したこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、0百万円の増加となりました。これは、ストック・オプション行使による収入であります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成22年7月30日に公表しました業績予想を修正しております。詳しくは平成22年10月27日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

## 2. その他の情報

### (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

### (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。これにより、営業利益、経常利益がそれぞれ3百万円減少し、税引前四半期純利益は7百万円減少しております。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,216,578	2,170,097
受取手形	3,016	1,057
売掛金	346,303	474,075
有価証券	605,110	604,823
未成制作費	13,697	11,813
前払費用	14,747	9,032
その他	4,828	11,176
貸倒引当金	△1,476	△1,579
流動資産合計	3,202,806	3,280,496
固定資産		
有形固定資産		
建物	39,341	31,830
減価償却累計額	△8,373	△2,498
建物(純額)	30,968	29,331
工具、器具及び備品	317,378	283,835
減価償却累計額	△227,207	△209,082
工具、器具及び備品(純額)	90,170	74,752
建設仮勘定	2,656	7,001
有形固定資産合計	123,795	111,085
無形固定資産		
商標権	185	252
ソフトウェア	143,512	86,273
ソフトウェア仮勘定	37,427	50,167
その他	522	522
無形固定資産合計	181,648	137,216
投資その他の資産		
投資有価証券	36,223	31,123
関係会社株式	1	1
破産更生債権等	17,590	15,437
長期前払費用	2,268	1,043
差入保証金	43,967	43,967
その他	25,000	25,000
貸倒引当金	△17,590	△15,437
投資その他の資産合計	107,460	101,134
固定資産合計	412,904	349,436
資産合計	3,615,711	3,629,932

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	77,243	83,441
未払金	49,585	49,874
未払費用	181,375	242,895
未払法人税等	6,990	9,820
未払消費税等	11,718	—
前受金	25,361	6,099
預り金	11,678	12,479
賞与引当金	31,726	40,428
ポイント引当金	1,584	2,416
その他	12,149	74,972
流動負債合計	409,413	522,428
固定負債		
資産除去債務	11,505	—
固定負債合計	11,505	—
負債合計	420,918	522,428
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,169,675	1,169,625
資本剰余金	1,824,704	1,824,654
利益剰余金	202,891	117,403
自己株式	△4,178	△4,178
株主資本合計	3,193,092	3,107,504
新株予約権	1,700	—
純資産合計	3,194,792	3,107,504
負債純資産合計	3,615,711	3,629,932



(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	1,736,365	1,642,049
売上原価	301,167	338,741
売上総利益	1,435,197	1,303,308
販売費及び一般管理費	1,430,598	1,213,716
営業利益	4,599	89,592
営業外収益		
受取利息	1,916	1,748
その他	214	694
営業外収益合計	2,131	2,443
営業外費用		
その他	137	—
営業外費用合計	137	—
経常利益	6,592	92,035
特別利益		
貸倒引当金戻入額	234	123
特別利益合計	234	123
特別損失		
固定資産除却損	1,800	34
減損損失	34,748	743
事業構造改善費用	144,219	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	3,993
特別損失合計	180,769	4,770
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△173,942	87,387
法人税、住民税及び事業税	2,905	1,900
法人税等合計	2,905	1,900
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△176,847	85,487

(第2四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)
売上高	876,206	795,899
売上原価	143,410	177,938
売上総利益	732,795	617,960
販売費及び一般管理費	701,130	608,155
営業利益	31,664	9,805
営業外収益		
受取利息	868	833
その他	4	164
営業外収益合計	873	997
営業外費用		
営業外費用合計	—	—
経常利益	32,537	10,803
特別利益		
貸倒引当金戻入額	76	—
特別利益合計	76	—
特別損失		
固定資産除却損	710	—
減損損失	34,748	—
事業構造改善費用	144,219	—
特別損失合計	179,679	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△147,064	10,803
法人税、住民税及び事業税	1,452	950
法人税等合計	1,452	950
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△148,517	9,853

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△173,942	87,387
減価償却費	34,554	45,116
新株予約権の増減額 (△は減少)	—	1,700
減損損失	34,748	743
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	3,993
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,464	2,049
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△16,371	△8,701
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	434	△831
受取利息	△1,916	△1,748
固定資産除却損	1,800	34
売上債権の増減額 (△は増加)	100,344	123,659
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,361	△1,883
仕入債務の増減額 (△は減少)	△21,611	△6,198
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△10,440	11,718
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△918	220
未払費用の増減額 (△は減少)	69,177	△61,520
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△14,295	△44,287
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	—	△1,450
小計	△1,333	150,002
利息の受取額	1,801	1,748
法人税等の支払額	△6,271	△5,154
法人税等の還付額	2,112	761
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,690	147,358
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△8,400	△5,100
有形固定資産の取得による支出	△11,570	△18,077
無形固定資産の取得による支出	△38,942	△77,511
差入保証金の差入による支出	△43,967	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△102,880	△100,689
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	—	100
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	100
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△106,571	46,768
現金及び現金同等物の期首残高	2,735,962	2,774,920
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,629,391	2,821,689

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。